

弦打校区のハザードマップについて

平成26年7月に「たかまつ防災マップ」が作成されて市民に配布されました。それを受けて、平成29年、弦打校区の危険度について詳しく解説した「弦打マップ防災&福祉」が、弦打校区コミュニティ協議会・弦打地区社会福祉協議会により発行されました。

その後、香川県により、大雨の時の浸水想定図は見直され、令和元年6月に新しい浸水想定が発表されました。その見直しにより、高松市から新しい「洪水ハザードマップ」が発行され、弦打校区コミュニティ協議会防災部会・弦打校区自主防災会連絡会から香東川と本津川について、「弦打マップ防災&福祉 香東川・本津川洪水浸水想定区域差替版」が発行されました。



地震、津波、高潮等、洪水浸水想定以外はこちらをご覧ください。

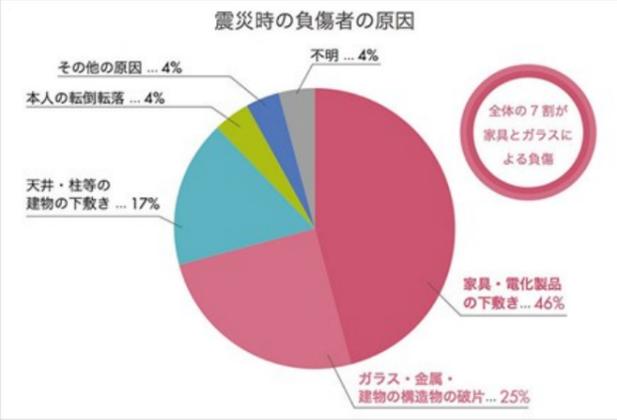


洪水浸水想定はこちらをご覧ください。

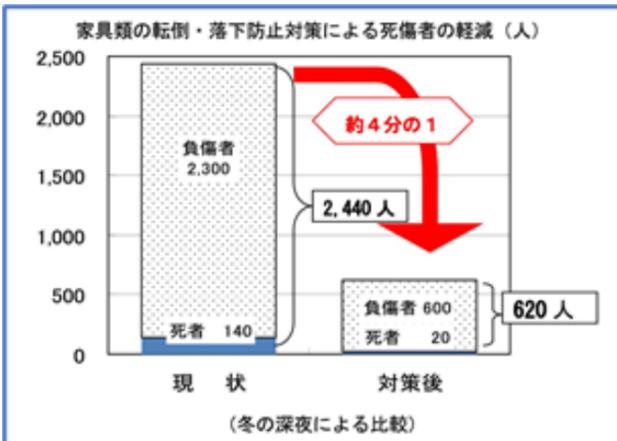
家具類の転倒防止対策について

1995年の阪神・淡路大震災では、家具類の下敷きによる負傷者は46%。右のグラフのように、家具と飛散ガラスによる負傷が全体の7割を占めています。

また、地震で亡くなった6,400人のうち約7割にあたる4,400人が、倒壊家屋による窒息死・圧死で、そのうち約9割の方が、地震発生後15分以内に亡くなりました。家具類の転倒等による被害は、けがや火災の発生だけでなく、避難経路の確保の観点からも重要です。香川県地震・津波被害想定では家具類の転倒防止対策によって、**死傷者数を4分の1**に軽減できるとの想定が示されています。



香川県では、香川県防災士会と連携し、**香川県家具類固定サポート制度(申込期限7月29日必着)**に取り組んでいます。本制度や高松市の固定器具の購入補助金を利用して、家族のためにも、家具類を固定しましょう。



配置替え ↓ 避難経路をふさがない



【問い合わせ先】香川県危機管理課 ☎087-832-3242
* 申請書は弦打コミュニティセンターにも備えています。

弦打校区 第1号 防災だより



発行日：令和4年5月20日
発行者：弦打校区自主防災会連絡会
高松市鶴市町356番地3
Tel 087-882-0285
共催：弦打校区コミュニティ協議会・防災部会
弦打地区社会福祉協議会

弦打の防災について学び、皆さんと一緒に支え合う地域をつくりまします！

2018年に、南海トラフの最大クラスの地震(M8~9)が30年以内に発生する確率が70~80%と公表され、最近では日向灘や南西諸島で、新たにM8クラスの巨大地震が起きる可能性があるとも示されました。南海トラフの最大クラスの地震の場合、弦打校区の震度は全域6弱となっています。

弦打には災害による多くの危険が！

この様な大地震以外にも、弦打校区は皆さんもご存じのとおり、高松市の中でも多くの災害が想定されている特に危険な校区です。津波による浸水想定では郷東地区以北のほとんどが浸水想定区域であり、香東川と本津川の二つの二級河川では、津波の河川遡上も予想されます。また、中津地区以北は干拓や埋め立てでできた土地であり、地盤が弱く液状化の危険度も高くなっています。

洪水の場合・想定最大規模の降雨(L2)では弦打校区全域が浸水想定区域となり、計画規模の降雨(L1)でも校区の約2/3の区域が浸水想定区域となっています。さらに高潮による浸水想定区域も中津エリア以北区域となっており、ため池の

決壊による浸水想定もあります。

平成16年(2004年)の台風23号では、御殿エリア、小坂エリア等で床上浸水被害も発生し、石清尾山の麓では土砂災害も発生しました。

地区防災計画と避難所運営マニュアルを作成しました！

このように多くの危険要素がある弦打校区の減災対策として、昨年度、香川県の自主防災補助金を受け、弦打校区自主防災会連絡会で弦打校区内の防災士が中心となって「避難所運営マニュアル(地震編)」、「避難所運営マニュアル(洪水編)」、「弦打校区地区防災計画」を作成しました。

今後、「弦打校区地区防災計画」の内容を住民に知っていただくため、これを契機に令和4年度から「弦打校区 防災だより」を発行することとなりました。弦打校区自主防災会連絡会は今後も、皆様方校区住民のご意見をいただきながら、防災知識の習得と共助に取り組みたいです。



ご案内

地区防災計画(追加開催) & 家具の転倒防止対策の説明会

- ◆日時：令和4年6月4日(土)9:30~12:00
- ◆場所：弦打コミュニティセンター 2階大会議室
- ◆申込：弦打コミュニティセンター ☎087-882-0285

作成した地区防災計画を基に校区の災害特性や避難について説明をし、皆で共有します。併せて、家具の転倒から命を守ることの重要性を学び、正しい対策を学びます。



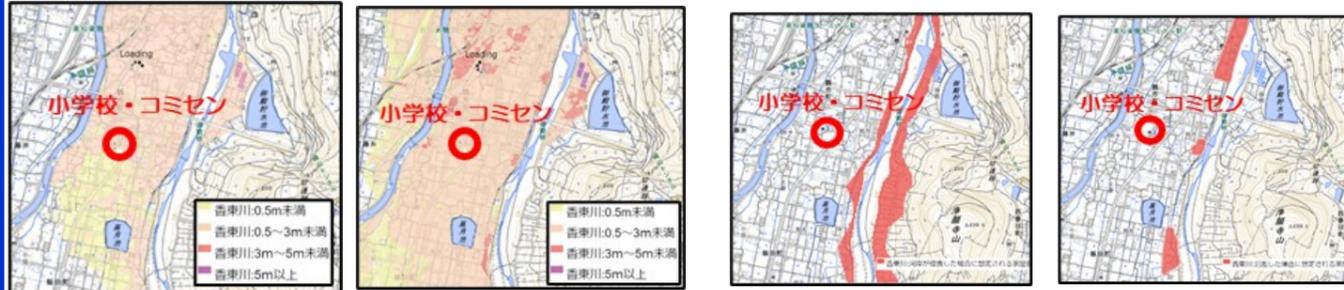
地区防災計画より

洪水時の指定避難所・指定避難場所 弦打小学校・弦打コミュニティセンターの危険度



【香東川の洪水ハザードマップでの浸水深と家屋倒壊等氾濫想定区域】

L1(計画規模)、L2(想定最大規模)の降雨の場合とも洪水時の指定避難所・指定避難場所として使用できることはなっていますが、L1(計画規模)、L2(想定最大規模の降雨)の場合とも、浸水区域内となっています。また、この場所の東の香東川沿いは河岸浸食、氾濫の場合とも家屋倒壊等氾濫想定区域となっています。



香東川のL1(レベル1) 計画規模降雨

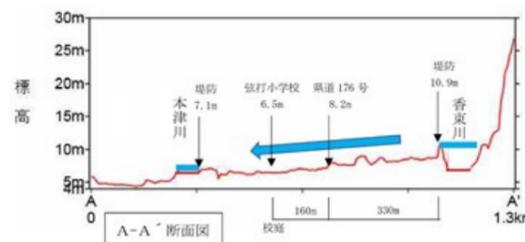
香東川のL2(レベル2) 想定し得る最大規模の降雨の場合

河岸浸食した場合に想定される 家屋倒壊等氾濫想定区域

氾濫した場合に想定される 家屋倒壊等氾濫想定区域

【弦打コミュニティセンターと弦打小学校の標高・地形】

弦打コミュニティセンターの標高は7m、弦打小学校の標高は6.5mです。右の図は、弦打小学校付近での地形の東西断面図です。この場所の地形は香東川から本津川にかけて傾斜しており、弦打校区で香東川と本津川間の距離が最も狭いのは弦打小学校のある場所です。堤防間の距離は約720m、堤体の**高低差は約4m**で土地は東から西に向かって低くなっています。香東川が越水したり、決壊によって氾濫した場合、氾濫水は東から西に勢よく流れることが予測されます。

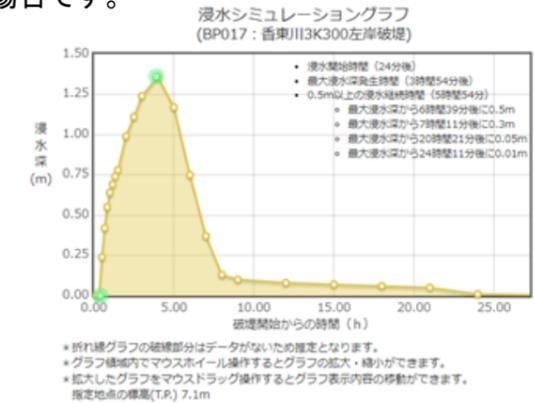


【弦打コミュニティセンターと弦打小学校の浸水シミュレーション】

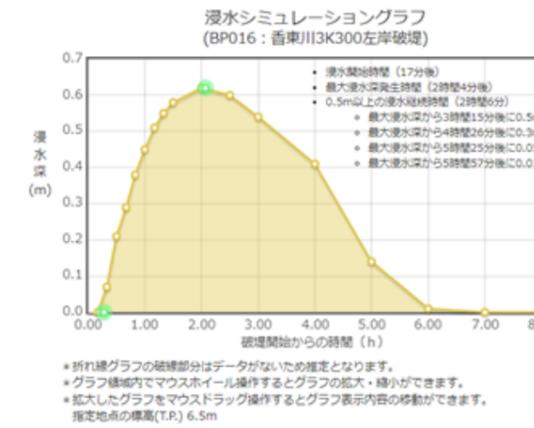
※最大浸水深の破堤点(一番深くなる時の決壊場所)の場合です。



香東川 想定最大規模の降雨(L2) 最大浸水深1m36cm



香東川 計画規模の降雨(L1) 最大浸水深 62cm



以上のことから、香東川の洪水のときに「弦打コミュニティセンター」と「弦打小学校」の浸水が想定される場合は、災害から逃れるために緊急的に避難し、身の安全を確保する場所ととらえ、**避難の際は浸水想定区域になっていない指定避難所に早期に避難しましょう。**浸水被害が小さく、建物や設備が速やかに復旧できれば、災害により家に戻れなくなった方は一定の間滞在する避難所となります。

令和3年度 弦打校区防災訓練

弦打校区では、新型コロナウイルス感染症対策にも対応した避難所運営マニュアルの見直しを進めており、その見直しを反映させた令和3年度の弦打校区防災訓練を11月14日、弦打小学校体育館で開催しました(参加人数55名)。南海トラフ地震が発生したことを想定して、防災本部の初動対応や、防災本部の各班の初動対応について学びました。また、これまでに整備したパーティション(50セット)・エアベット(100個)を活用し、実際に組み立てて、レイアウトなど、居住スペースの確認をおこないました。



避難所運営マニュアルの学習

地区防災計画の説明会

令和3年11月21日に弦打校区の中でも災害危険度の高い御殿自治会の役員会で、「弦打校区地区防災計画(案)」について説明し、12月12日に再度、自治会員を対象に自治会エリアの危険度や避難のタイミング、避難経路、避難先について説明・協議し、貴重なご意見をいただきました。約30人の参加がありました。

また、令和4年1月15日に単位自主防災会、自治会長等対象に説明会を開き、意見交換の会を開催しました。弦打校区の地理特性から校区や指定避難所の危険度を説明し、避難のタイミング、避難経路、避難先について



自治会長・自主防災会説明会



御殿自治会説明会

説明し、約20人の参加がありました。今後も、各団体からの依頼に応じて説明会を開催します。また、**各自治会での説明会の開催を予定していますので、希望の単位自主防災会、自治会は弦打校区自主防災会連絡会、もしくはコミュニティ協議会防災部会にご依頼ください。**

